

写真



＼石見銀山学習Ⅰ－②（1年生「産業社会と人間」）／

9月13日（月）

1年生の「産業社会と人間」の授業で、10月末に行う石見銀山保全活動（4月に2年生が実施した事業と同内容）の事前学習第2弾として、石見銀山資料館の仲野館長さんに石見銀山についてお話しいただきました。

第1弾では、クイズ形式で世界遺産について学びましたが、今回は様々な写真を見ながら、石見銀山が最盛期であった江戸時代の世俗や世界の中での立ち位置などを詳しくお話しいただきました。

大田市内出身の生徒は小・中学校の時から石見銀山学習を行ってきたので、要点については学んではいますが、市外出身の生徒は、詳しい話を聞くのは今回初めてだったのではないかと思います。

邇摩高校は、石見銀山のすぐそばにある事から、石見銀山について学び、探究を深めることは、非常に意義ある事です。

2度の事前研修で学んだことをベースに、いよいよ10月には保全活動を実施するため、現地に入ります。

生徒達には、見て、触れて、体験し、この研修で学んだことを体感してほしいと思います。

大田市教育魅力化コーディネーター（邇摩高校） 森本

邇摩高HPはコチラ ⇒ <https://www.nima.ed.jp/>